

# 稲葉ダムだより

発行: 稲葉ダム安全衛生連絡協議会  
事務局 鹿島・大林・さとうJV 稲葉ダム本体建設工事事務所  
竹田市大字下坂田830  
TEL 0974-66-3939 FAX 0974-66-3940

余寒なお厳しき折、地元の皆様におかれましてはご健勝のことと思います。平素はダム建設工事に格段のご理解とご協力を頂きまして有難うございます。我々はこちらに來まして2回目の冬を体験しました。2月初旬に雪が降りましたが、今年は昨年よりは雪も少なく寒さも厳しく無いように感じます。まだまだ寒い日が続くとは思いますが、お体には充分お気をつけ下さい。工事の方も本体工事、貯水池対策工事、残土処理場工事が本格化してきています。また、付替林道補修工事や法面

## 3月の予定

13日(日) 阿鹿野共有地野焼き

27日(日) 稲葉ダム周辺植樹

\* 上記行事には我々もボランティアとして参加する予定です。

\* 現場見学をご希望の際は、当企業体か竹田ダム建設事務所にご気軽にご連絡下さい。

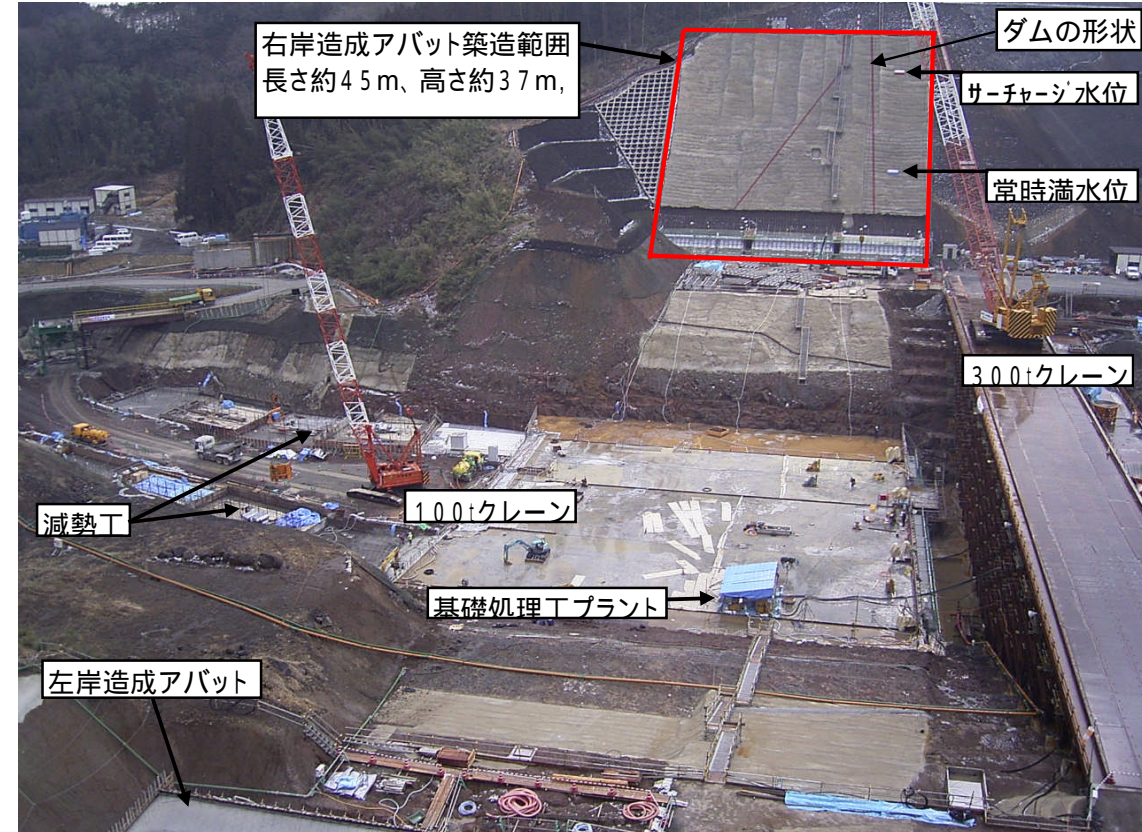
## お知らせ

・引き続き原石山にて発破を毎日17:00に行ないます。(土日は行いません。)退避のご協力をお願いします。

・稲葉ダム関連工事として、下記工事が始まります。宜しくお願いします。

## 現場のようす

### 本体工事



\* 減勢工では左側の100tクレーンを使用して打設します。

\* **サーチャージ水位** 洪水時にダムにためることの出来る最高水位

\* **常時満水位**: 平常時にダムにためることの出来る最高水位

## トピックス

### CSG工法(Cemented Soil & Gravel)

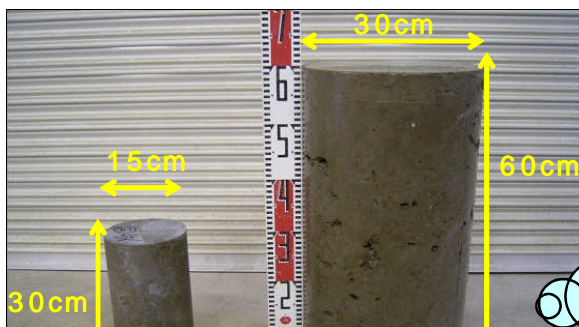
最近の建設事業において「低コスト」・「環境負荷の低減」は重要なキーワードとなっております。「CSG工法」とは、現場内に発生する岩石質の現地発生土(母材)をそのままセメント・水と混合することにより、堤体等の構造物の一部に使用するものです。1992年に静岡県長島ダムの建設において採用されて以来、新しいダムの建設技術として注目されている工法です。

この工法の採用によって、

従来、残土として処理していたものを材料として使用出来る。 **「低コスト」「環境負荷の低減」**  
簡易な設備で製造が可能 **「低コスト」**

さらに材料の性質上、急速施工が可能 **「工期の短縮」**

などのメリットが挙げられ、稲葉ダムにおいても転流水路の基礎部分や貯水池の漏水対策の一部



CSGは一般の生コンと比べて、大きな骨材(石)が入っています。そのため、供試体(テストピース)を作製するときは、写真のような大型供試体を作製して、圧縮強度試験などの試験を

2月末現在、約14,000m<sup>3</sup>打設しました。(全体打設量22万m<sup>3</sup>)

現在、堤体及び造成アバット部はダムの遮水の為の基礎処理工(セメントミルク注入工)を行っており、コンクリート打設は主に減勢工部の打設を行っています。

(**造成アバット**:ダムの左右岸基礎地盤には、一部重さに耐えられない柔らかい地盤があり、その地

### 貯水池遮水工事



農産加工所の裏に展望台を設置する工事を行っています。現在は低い所を施工していますが、最終的には農産加工所と同じ高さとなり、段差の無いバリアフリーの展望台が出来ます。3月末完成予定ですので、是非ご利用